

私の事業所紹介

おびつせいそうしゃ

(有)小櫃清掃社

一般社団法人千葉県環境保全センター青年部会 副部会長

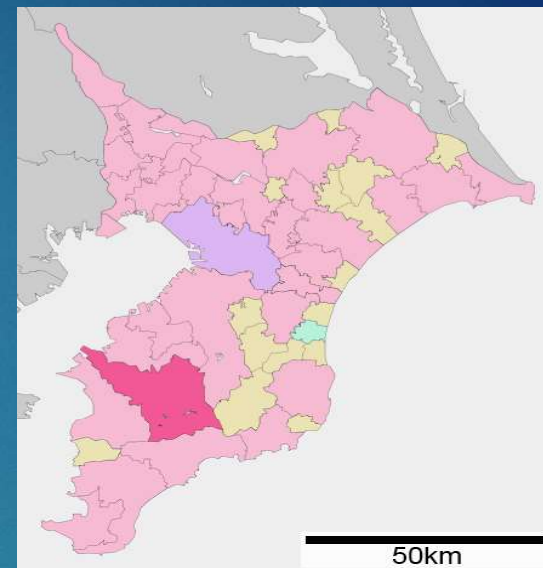
(有)小櫃清掃社 代表取締役 鳥井直哉

会社（地域）概要

▶ 事業内容

一般し尿処理収集・浄化槽保守点検清掃

- ▶ ・ 浄化槽補修工事・浄化槽設備機器販売修理
排水管高圧洗浄作業・水質分析業務・
仮設トイレレンタル等



君津市

君津市（きみつし）は、千葉県の南に位置し、新日鐵住金君津製鐵所で知られる市である。1960年代、君津製鐵所の操業開始に伴い同社（当時は八幡製鐵）関係者の転入により人口が急激に増加したが、バブル崩壊後の不況で増加がストップし、現在は減少傾向にある。現在、アクアライン高速バス網の発展にともない、東京駅・羽田空港へのアプローチの利便性が高まり、今後は新たなベッドタウンとしての機能も期待される。

会社の沿革

- ▶ 創業の内容
- ▶ 昭和 4 5 年 7 月 小櫃村村長松崎純様より、し尿くみ取り（清掃業）の許可を受け開業する
- ▶ 会社の沿革
- ▶ 昭和 5 0 年 9 月 (有)小櫃清掃社 設立 代表取締役 鳥井正男
- ▶ 平成 2 年 5 月 代表取締役 鳥井 はな 就任
- ▶ 平成 7 年 2 月 君津地区・小糸地区・清和地区の清掃業務開始（共栄清掃倒産により）
- ▶ 平成 7 年 1 0 月 代表取締役 鳥井 利久 就任
- ▶ 平成 9 年 6 月 排水管高圧洗浄作業開始
- ▶ 平成 2 6 年 1 月 代表取締役 鳥井 直哉 就任
- ▶ 平成 2 6 年 5 月 第二創業補助金の助成を受け、本格的に仮設トイレリース業開始



集客の多いイベントや、建設現場など
仮設トイレは環境整備の必需品！

現在、保有基数
簡易水洗式
和式20基

簡易水洗式
洋式25基



ポンプ式簡易水洗タイプ 兼洋和



ポンプ式簡易水洗タイプ 洋

有限会社 小櫃清掃社 経営理念

- 地域社会に必要とされる会社になろう。
- 時代の流れに即した仕事を創造しよう。
- 地元地域で仕事をさせていただいていることに感謝し、そしてお客様に感謝される仕事をしよう。
- 仕事を通じ、地域の社会貢献に努めよう。

座右の銘

莫煩惱（まくぼんのう） or （ばくぼんのう）

莫煩惱（ばくぼんのう）。「**あれこれ思い悩まず、今出来る事に最善を尽くす**」という意味です。

この言葉に出会ったのは、10数年ほど前、ライバル会社で大規模に営業をかけられ、毎日の様に10件以上の浄化槽の維持管理契約解除の電話が掛かって来るという事がありました。

本当に「**なぜ、どうして、このままではマズイ**」と非常に悩み、あれこれ考えました。

そんな時偶然見たテレビ番組が私の迷いを払うきっかけとなりました。それはNHK大河ドラマ『**北条時宗**』で、鎌倉時代《元寇》の国難に直面した際、北条時宗が中国の禅僧「**無学祖元**」より頂いた言葉です。

そして**元**という**大国**にあらゆる準備（防人・防塁壁を築く）をし、立ち向かいそして台風をも味方につけ、元を見事に追い返すことができました。

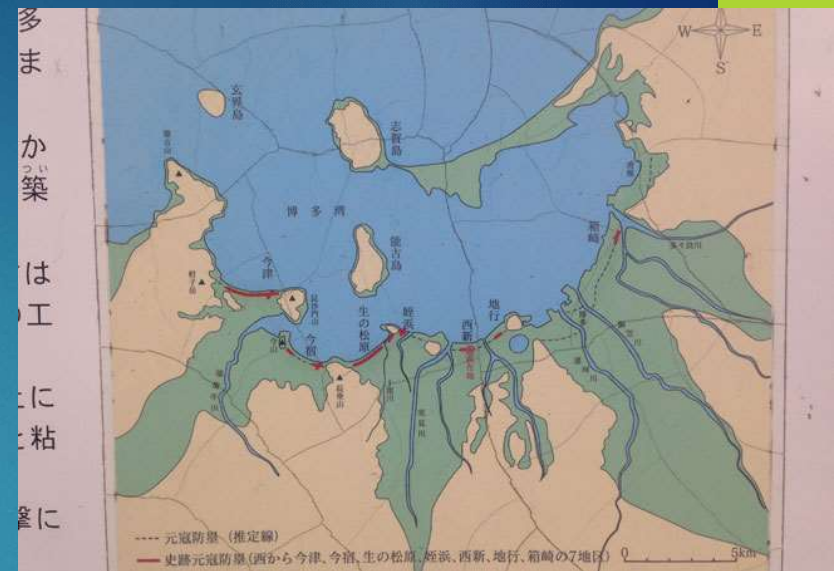
その北条時宗と自分の状況が重なって感じられ、自分も『莫煩惱』の精神で、前を向いて頑張る事が出来ました。

その時から『**莫煩惱**』が、私の座右の銘になりました。



蒙古襲来絵詞（一部）





自己PR

- ▶ 同級生の妻と3人の息子の5人家族
- ▶ 平成6年4月～「洋服の青山」へ就職（3年5ヶ月勤務）平成9年8月末日迄
- ▶ 平成9年9月～ 有限会社小櫃清掃社へ
- ▶ 平成11年9月～ 千葉県環境保全センター青年部会へエクセルセミナーより入会（現在18年目突入）
- ▶ 平成12年4月～ 地元消防団へ入団（現在も機能別消防団員として在籍）
- ▶ 平成16年5月～ 小櫃商工会議所青年部・君津商工会議所青年部へ入会
- ▶ 平成24年5月～ 君津商工会議所青年部会長を歴任（平成24年度）
- ▶ 平成24年10月～ きみつ特産品振興企業組合発足：加盟（現在、監事）
- ▶ 平成25年12月～ 上総ライオンズクラブへ入会（現在、会計職）
- ▶ 平成26年2月～ 上総地区少年野球指導者連絡会代表就任
- ▶ 平成27年1月～ 少年野球チームKAZUSA代表就任



人生理念

愛 貢献 感謝

私は妻を愛し感謝し、息子達を愛している。

息子達の成功が私の喜びであり、励みである。

家族、友人、社員に感謝し、大切にする。
私は常に最善を尽くす。

私は地域社会に対し、貢献の人生を歩む。

2017/2/6

成功しなければならない理由（決意）

- 創業者である祖父が、息を引き取る数日前に「直哉頼んだぞ」と自分の手を握りながら伝えられた祖父の想いに応える為
- そして自分や家族・社員を物心ともに豊にする為
- 地元地域の皆さんに支えられてここまでこれた事に感謝し、そして恩返しをするべく、地域への社会貢献をする為

以上の理由から、自分は必ず成功しなければならない。

※ご清聴、誠にありがとうございました。

2017/2/6